

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	A 病院における EGFR 阻害薬の内服を外来導入した患者に対する支援体制と課題
研究責任者	外来看護 中村麻友美
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 2 月 28 日
対象者	2022 年 9 月から 2024 年 12 月までの間に聖隷浜松病院呼吸器内科でオシメルチニブメシル酸塩の内服治療が開始となった患者さん
研究の意義・目的	EGFR 阻害薬の治療による皮膚障害は高頻度に生じ、症状の重症化に伴い QOL の低下や治療の中断にも繋がります。そのため、皮膚障害の早期発見に加え、予防的なスキンケアの患者指導が重要です。A 病院では、外来通院の肺がん患者さんに対し、EGFR 阻害薬の内服治療開始時に、多職種と連携した皮膚障害に対する患者支援体制を構築しました。支援体制の検証を行うことで、地域がん診療連携拠点病院として外来通院患者さんに対する支持療法を強化していくための一助とするため、本研究に取り組むことにしました。
研究の方法	2022 年 9 月から 2024 年 12 月までの間診療録から、下記を抽出し、分析します。 ① 対象患者の年齢・性別・一次治療かそれ以外か ②薬剤師の指導の有無と内容 ③看護師の日常生活指導の有無と内容および患者の反応 ④対象患者の皮膚障害の有無 ⑤看護師から医師への報告の有無 ⑥報告後の医師の反応(皮膚障害に関する記載の有無と内容(支持医療科対診/減量/レジメン変更/処方) ⑦患者の転帰と医師、看護師の行動
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 外来看護課 (氏名)中村麻友美 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日